



我孫子 洋昌 議員

新規政策・事業の進捗や結果が町民に伝わっていないのではないか

町長 そう思う。情報を公開して周知方法を工夫したい

国から選定された計画の進捗・結果の周知について

質問 下川町はこれまで、環境モデル都市計画など国から選定を続けて受けているが、計画全体の進捗・結果が町民へ伝わっていないのではないか。

町長 各種計画等の総合的なものが「SDGs未来都市計画」です。この進捗評価をする「SDGs評議委員会」で、平成30年度実績の評価を頂いています。

また、政府の「SDGs進捗評価検討会」での進捗評価や、平成28年度で終了した環境未来都市と、その他計画の進捗評価も、バイオマス産業都市以外は政府のホームページで公表されています。さらに、各種計画に基づく取組は町の総合計画審議会で評価を受けていますが、住民への周知は十分ではないと認識していますので、周知方法を今後工夫したいと思います。

再質問 新しい企画、計画を立案し、また、新しい概念を取り入れていく部署には、それを町民や町内事業者によく浸透させていく役割があると考えるが、いつまでも行政だけが動いているから息切れして、取組も広がらないのではないか。

また、「政府のホームページで公表」というのは不親切ではないか。環境未来都市も平成28年度で終了したこのことだが、多分知らない人が多いのではないかと。また、周知方法を工夫したいとのことだが、周知の頻度や対象者について具体的な考えはあるか。

政策推進課長 国のホームページで見てほしいというのは、不親切かと認識しています。周知対象と方法は、今後、検証・検討します。

SDGs未来都市計画に掲げる各種事業の実施見込みについて

質問 昨年選定を受けたSDGs未来都市計画についても、町民への情報提供を適切に行い、意識を共有することが事業推進に不可欠だと考える。各種事業の実施見込みについて伺う。

町長 計画に基づき各種事業を進めています。菓子製造事業は大変残念ながら中止となったところです。

再質問 菓子製造事業は、SDGs未来都市計画の中でも、環境、社会、経済の三つの側面をつなぐ統合的な取組みとして下川町のSDGsの目玉事業という認識は、間違いはないか。

町長 間違いありません。

再質問 ならば、事業断念は、下川町のSDGsの達成に影響があるのか。

町長 菓子製造事業は、十幾つのモデル事業の中の一つであり、その他の事業を

しっかりと進めてほしいという国の方針もあるので、他の事業を遂行できるように汗をかきたいと思えます。

再質問 菓子製造事業は、

①一の橋で、②旧小学校を活用して、③連携企業と、④障がい者等を雇用して、⑤菓子製造を行う…という要素があると思う。事業断念で全部が無しになるのではなく、例えば、この要素のうち①と④を組み合わせた事業を、町内事業者や近隣の事業者と推進する考えはあるか。

町長 新たな計画を考える時点ではありません。

再質問 目玉事業の断念で計画全体の見直しが必要と考えるが、下川町として、主体性を持って取り組むべきだと考えるか。

町長 現在協議中であり、速やかに改定をしたいと考えています。